

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千六十九號

昭和十三年十一月二十四日(木)

海軍大臣官房

○ 辭 令

横須賀海軍經理部部員

海軍主計少佐 伊 丹 廣

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中佐 川 村 久三郎

艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス

支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上共計支

出官海軍省經理局長)

○ 雜 款

○司令艇復歸

第一掃海隊司令八十一月二十二日司令艇ヲ第四掃海艇
ヨリ第一掃海艇ニ復歸セリ

○郵便物發送先
驅逐艦磯波宛

十二月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
共ノ後ハ 東 舞 鶴

○事務所撤去
軍艦利根艦裝具事務所ヲ十一月二十日撤去セリ

○着任、退廳

新任 海軍省人事局 海軍大佐 三 戸 壽 十二月五日着任

前任 同 同 多田武雄 同 九月退廳

新任 海軍航空本部 海軍主計大佐 山口 一 十二月二日着任

前任 同 同 西野定市 同 十二月三日退廳

海軍公報 (部内限) 第三千六十九號 昭和十三年十一月二十四日

一三七七

1184

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月二十四日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、長門、陸奥、那珂、鳥海、摩耶

蒼龍、木曾、赤城

曉、漣、狹霧、響、雷、電、天霧、朝霧、夕霧、若竹

伊二、伊三、伊四、伊六、伊七

掃二、掃六

富士、洲崎

飛龍、高崎、劍埼

【長浦】

旗風、秋風、羽風、山雲、夏雲、朝雲、峯雲、沖風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、伊五、伊一二三、伊二四

掃五

【石川島】

太刀風

掃一〇

【浦賀】

北上

夕風

【館山】

澤風

【大湊】

波風、早苗、大泊

【函館】

吳竹、矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹、加古、大井、最上、日向、伊勢、鬼怒、夕顔、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤、吹雪、浦波、綾波、矢風、白雲、薄雲、叢雲、東雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、呂三四、呂三三、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八

雁、攝津、間宮、襟裳、石廊、室戶

千代田、伊一六

黑潮

伊五四、呂五七、呂五九

伊八、伊七五

早鞆

瑞穂

掃七

松風、春風

平戸

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

因ノ島

江田内

舞鶴

相生

神戶

大阪

大

玉

因ノ島

江田内

舞鶴

海軍公報(部内限) 第三千六十九號

昭和十三年十一月二十四日

一三七九

【敦賀】

(箴)▲(陽炎)▲(掃九)▲
伊五二

榛名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、

衣笠、▷霧島▲、金剛▲、由良、▷阿武隈

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、夕月▲

▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、▷夕風▲

朝風▲、▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、

▷如月、卯月、彌生、沼風、文月

▷呂三〇▲、▷呂三一▲、▷呂三二▲、▷呂六〇▲

▷呂六一▲、▷呂六二▲、▷呂六四▲、▷呂六六▲

▷呂六五▲、▷呂六七▲、▷呂六八▲、▷呂六三▲

▷伊六三、▷伊五九、▷伊六〇、▷伊六四、

▷伊六一、▷伊六二、▷伊六九

敷島▲、知床、鶴見

(明石)▲、(伊一八)▲

羽黒▲

佐多▲

(筑摩)▲

【鎮海】▷葦、柿

【羅府】▷尻矢

【作業地】▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、壱田、比良、

保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、

▷川内、▷口足柄、沖島、▷球磨、▷口妙高、多摩、

▷天龍、龍田、長良、▷加賀、神威、能登呂、

勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷磐手、八雲、

駒橋、利根

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、

▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、

涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、

葛、▷朝顔、▷芙蓉、刈萱、▷菊月、陸月、

望月、三日月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、

菱、▷島風、沙風、灘風、皐月、▷隴、

曙、潮、▷野風、楡

▷隼、鵲、鵝、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、▷鳩、鷺、雉

▷掃一、掃三、掃四、▷掃一六、掃一三、

▷掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▷朝日、膠州、隱戸、鳴戸、野島

海軍公報 (部内限) 第三千七十號

海軍大臣官房

昭和十三年十一月二十五日(金)

1187

○通牒

軍需機密燃第二五七號

昭和十三年十一月二十四日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

燃料等ノ貯藏供給ニ關スル件通牒

昭和十三年十二月一日以後燃料等ノ貯藏供給ハ左記ニ依リ處理相成度

追而艦政需第一七三號(大正七年五月九日艦政局長

ヨリ關係各廳長宛(艦營需品燃料取扱例規三二九頁參照)

軍需第二號ノ三〇九(大正十一年四月七日軍需局長ヨリ各艦隊(練習艦隊ヲ省ク)各鎮守府機關長

宛(艦營需品燃料取扱例規三二八頁參照) 軍需燃第二二四號(大正十五年六月二十日軍需局

長ヨリ關係各廳長宛(艦營需品燃料取扱例規三三四頁參照)

軍需燃第二六五號ノ二(昭和二年十月二十八日軍需局ヨリ關係各部宛(艦營需品燃料取扱例規三三五頁參照)

軍需第二五號(昭和六年二月二十五日軍需局長ヨリ關係各廳長宛(艦營需品燃料取扱例規三四四頁參照)

軍需機密燃第一三二號ノ一〇(昭和八年十一月十八日軍需局ヨリ關係各部宛(艦營需品燃料取扱例規三五九頁參照)

軍需機密燃第一六〇號(昭和八年十一月二十八日軍需局長ヨリ各軍需部長、舞要軍需部長、各要港

部主計長宛(艦營需品燃料取扱例規三六〇頁參照)

照)

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第三千七十號

昭和十三年十一月二十五日

一三八一

品種細目	略稱	記號	使用區分
航空原料	空原揮	G B	航空九二揮發油原基
揮發油	原揮	G 八七 B	航空八七揮發油以下ノ原基
航空八七原料	原揮	G 八七 B	航空八七揮發油以下ノ原基
揮發油	原揮	G 八七 B	航空八七揮發油以下ノ原基
アルコール	アルコ	A	各種揮發油混用
エチルフルード	エチル	Et	
イソオクタン	オクタン	O	
イソプロピル	エテプロ	Ep	航空揮發油混用
エーテル	エテプロ	Ep	航空揮發油混用
「一號」	一ベン	Bc1	
「二號」	二ベン	Bc2	
「ベンゾール」	直(分)六	A6 (R6)	航空七〇揮發油原基
航空直溜(分解) 甲六號揮發油	直(分)六	A6 (R6)	航空七〇揮發油原基

(五) 鐵箱諸又ハ「ドラム」鐵箱ノモノハ格納庫ニ格納スルモノトス

但最下段ノ箱又ハ「ドラム」鐵箱ノ強度及異品種紛合防止ニ對シテハ特ニ留意ヲ要ス

(六) 油槽ノ關係其ノ他ノ爲混合己ムヲ得ザル場合豫メ其ノ狀況ヲ海軍省軍需局ニ通報スルモノトス

二、供給

(一) 石炭ノ供給

(イ) 煉炭ハ成ルベク貯藏後六ヶ月以上ヲ經過セルモノヲ供給スルモノトス

(ロ) 卵型海軍煉炭ハ特ニ必要アルトキハ一號煉炭ノ在庫アル場合ト雖モ供給スルコトヲ得

(ハ) 角型海軍煉炭ハ卵型海軍煉炭及一號煉炭在庫ナキ場合ニ限り供給スルモノトス

(ニ) 二號煉炭ハ速ニ之ヲ整理スル目的ヲ以テ昭和六年官房第三五三九號ニ依リ極力供給スルモノトス

(二) 罐用重油ノ供給

(イ) 普通重油「シエール」重油ノ順序ニ供給スルモノトシ前者ニ在リテハ成ルベク粘度大ナルモノヲ先ニス

(ロ) 罐用重油在庫ナキ場合又ハ凍結ノ惧アル地域ニ於テ使用スル場合一號重油ノ供給ハ樺太重油「ボルネオ」重油ノ順序トス

(ハ) 混炭重油ノ供給ハ追テ定ムル所ニ依ル

(イ) 内火重油ノ供給

一號重油ハ「ボルネオ」重油、樺太重油、特

海軍公報(部内限) 第三千七百號 昭和十三年十一月二十五日 一三八三

種重油ノ順序ニ供給スルモノトス
(ロ) 二號重油ノ在庫ナキ場合ニハ特種重油、「ポ
ルネオ」重油、樺太重油ノ順序ニ供給スルモノ
トス

軍需機密燃第二五七號ノ二

昭和十三年十一月二十四日

海軍省軍需局長
海軍省軍務局長

各鎮守府 參謀長
各要港部 參謀長
各艦隊 參謀長
練習艦隊司令官

通牒消滅ニ關スル件通牒

今般燃料經理規程ノ改正及軍需機密燃第二五七號通牒
ニ依リ左記通牒ハ昭和十三年十二月一日以後自然消滅
ノ儀ト承知相成度

記

軍需機密燃第一六一號ノ七(昭和三年十二月二十一

日軍需局長、軍務局長ヨリ各鎮要參謀長宛(艦營

需品燃料取扱例規三四九頁參照) (海) (陸)

軍需機密燃第一〇七號(昭和六年十一月十一日軍需

局長、軍務局長ヨリ第一、第二艦隊、各鎮守府、

要港部參謀長宛(艦營需品燃料取扱例規三五二頁
參照) (海) (陸)

軍需機密燃第九九號(昭和八年八月十一日軍需局長、
軍務局長ヨリ練習艦隊司令官、各鎮守府、要港部、
駐滿海軍部參謀長宛(艦營需品取扱例規三五七頁
參照) (海) (陸) (燃料)

軍需機密燃第二五九號

昭和十三年十一月二十四日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

燃料ノ供給及豫算整理ニ關スル件通牒

本年十二月一日ヨリ施行セラル、燃料經理規程ノ改正
ニ依リ燃料ノ品種改訂相成候處之ニ伴フ供給及豫算整
理ハ左記ニ依ルコトニ定メラレ候

記

一、既告達豫算ハ其ノ告達替ハ爲サザルモノ之ガ告知ハ

使用區分ニ從ヒ新品種別ニ行フモノトス

二、既告知豫算ハ其ノ告知替ハ爲サザルモノトシ從來

ノ品種ニ對スル告知豫算ニテ使用區分ニ依ル新品種

ヲ受入ル、モノトス

三、在庫品ハ新品種ニ更正スルモノトス

○ 辭令

海軍少佐 山田 盛重
第一課勤務ヲ命ス(註海軍省軍務局)

○ 雜款

○將旗移揚
第五水雷戰隊司令官ハ十一月二十二日將旗ヲ朝顔ニ移揚セリ

○司令驅逐艦復歸
第二十六驅逐隊司令ハ十一月二十日司令驅逐艦ヲ楡ヨリ葦ニ復歸セリ

○書類發送先
伊號第六十九潜水艦宛

佐 世 保

自 今
給與關係書類

伊號六十九潜水艦ハ 阿武隈主計長宛

伊號六十八 同七十潜水艦ハ 吳防備隊主計長宛

(第十二潜水隊)

海軍公報(部内限)第三千七十號 昭和十三年十一月二十五日

一三八五

1191

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲
定▲ヲ▲要▲セ▲ズ

○十一月二十五日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門▲、口陸奥、口那珂、口鳥海、摩耶▲

▷蒼龍、木曾、赤城、利根

口曉、漣、狹霧、口響▲、電▲、口天霧、

朝霧、夕霧、若竹

口伊二▲、伊三、伊四▲、口伊六▲、伊七▲

掃五、掃六

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】口旗風、口秋風、羽風、山雲、口夏雲、朝雲、

峯雲、沖風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊五、口伊一二三、伊二四

掃二

【石川島】

太刀風▲

【浦賀】

北上▲

夕風

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲、雷

【大湊】

波風、早苗

大泊

【函館】

吳竹▲
矢矧、韓崎、比叡▲淀、淺間、扶桑▲古鷹▲
加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

▷大鯨、▷熊野、鈴谷、三隈、▷神通、龍驤

夕顔、口菊、葵、萩、磯波▲、口初雪、白雪、

吹雪、口浦波▲、綾波、▷矢風、口白雲、

薄雲、叢雲、東雲、口朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、口伊五三▲、伊五五、

口呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、

伊五八、口伊七二、伊七三、伊七一、

口伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

口伊一二一、伊一二二、口伊七〇、伊六八

雁 攝津、間宮、襟裳、石廊、室戶

(千代田)▲(伊一六)▲

(黒潮)▲

【大阪】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

【神戸】(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】早鞆▲

【相模】(瑞穂)▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】松風▲、春風▲

【江田内】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

海軍公報(部内限)第三千七十號

昭和十三年十一月二十五日

一三八七

伊五二

(霞) (陽炎) (掃九) ▲

榛名 ▲、那智 ▲、常磐 ▲、▷名取 ▲、青葉、

衣笠、▷霧島 ▲、金剛 ▲、由良、▷阿武隈

梨 ▲、竹 ▲、樞 ▲、桃 ▲、柳 ▲、檜 ▲、董 ▲、夕月 ▲

▷若葉 ▲、初霜 ▲、子日 ▲、初春 ▲、▷夕風 ▲

朝風 ▲、▷大潮 ▲、朝潮 ▲、滿潮 ▲、荒潮 ▲

峯風 ▲、▷如月、卯月、彌生、沼風、文月

呂三〇 ▲、呂三一 ▲、呂三二 ▲、呂六〇 ▲

呂六一 ▲、呂六二 ▲、呂六四、▷呂六六、

呂六五 ▲、呂六七、▷呂六八、呂六三、

▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、

伊六一、伊六二、伊六九

敷島 ▲、知床、鶴見

(明石) (伊一八) ▲

羽黒 ▲

佐多 ▲

(筑摩) ▲

鎮海 ▲、葦、柿

【作業地】▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、

▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、

▷天龍、龍田、長良、▷加賀、神威、能登、呂、

勝力、千歳、迅鯨、▷嵯峨、▷磐手、八雲、

駒橋

【航海中】

尻矢 (二十三日羅府發上「ホノルル」)

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、
▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、
涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、
葛、▷朝顔、▷芙蓉、刈萱、▷菊月、睦月、
望月、三日月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、
菱、▷島風、沙風、灘風、阜月、▷臘、
曙、潮、▷野風、楡、
▷隼、鵠、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、▷鳩、鷺、雉、
▷掃一、掃三、掃四、▷掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、
▷朝日、膠州、隱戶、鳴戶、野島

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年十一月二十五日 (金)
海軍大臣官房

○令達

官房機密第六二九〇號
所屬長官ハ十二月一日現在員(特ニ指定スル)ニ付左記標
準ニ依リ年末賞與ヲ支給スベシ
昭和十三年十一月二十五日

海軍大臣

記

區
軍 官、同 待 遇 者 人 分 賞 與 額 (本俸又ハ
給料ニ付)
一、八箇月分以内
一、八箇月分以内
一、八箇月分以内
一、八箇月分以内
一、八箇月分以内
一、八箇月分以内
同 員 傭 人 (月 給 者) 五 十 四 日 分 以 内
同 員 傭 人 (日 給 者) 百 圓 以 内
海軍ノ學校ニ兼務スル陸軍武官

○通牒

官房機密第六二九九號

昭和十三年十一月二十五日

海軍次官

各所屬長官殿

國債又ハ貯蓄債券買入ニ關スル件申進

今般官房機密第六二九〇號ヲ以テ年末賞與支給方令達
セラレ候處右賞與中本年官房第三〇八四號ニ依ル貯金
ハ之ヲ以テ支那事變國債又ハ貯蓄債券ヲ購入セシムル
コトトシ尙所定率ハ概ネ左記ニ依ルコトニ取計相成度
記

- 一 二百五十圓未満ノモノ 一割五分以上
- 二 二百五十圓以上五百圓未満ノモノ 二割以上
- 三 五百圓以上ノモノ 二割五分以上

海人機密第一號ノ二八九

昭和十三年十一月二十五日

海軍省人事局長
海軍省經理局長

海軍公報 (部内限) 號外

關係各所轄長殿

海軍又ハ陸軍ニ召集セラレタル者及陸軍ニ勤務ノ海軍軍人ニ對スル年末賞與支給ニ關スル件申進

海軍又ハ陸軍ニ召集セラレタル者及陸軍ニ勤務ノ海軍軍人ニ對スル官房機密第六二九〇號ニ依ル年末賞與ハ左記ニ依リ支給スルモノト了知相成度

記

一 海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員備人ニシテ在籍ノ儘海軍ニ召集セラレタルモノニ對シテハ海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員備人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ給料ニ付召集中ノ日數ヲ除算シタル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍應ニ於テ支給シ召集中ノ海軍軍人タル身分ニ於ケル俸給ニ付召集中ノ勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ現所屬應ニ於テ支給ス

二 海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員備人ニシテ在籍ノ儘陸軍ニ召集セラレタルモノニ對シテハ海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員備人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ給料ニ付召集中ノ日數ヲ除算シタル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍應ニ於

テ支給ス

三 海軍軍人ニシテ支那事變ニ關シ陸軍ノ勤務ニ從事セシメラレタルモノニ對シテハ陸軍ニ於ケル勤務日數ヲ通算シ算出シタル金額ヲ海軍ニ於テ支給ス

經豫第四號ノ八三

昭和十三年十一月二十五日

海軍省經理局長

各支出官殿

年末賞與支給額調ノ件通牒

本年官房機密第六二九〇號ニ依ル年末賞與支給額調昭和六年經豫第五七四號ニ準ジ調製來ル一月十五日迄ニ當局ニ提出相成度

經豫第四號ノ八四

昭和十三年十一月二十五日

海軍省經理局長

各支出官殿

年末賞與支出科目ノ件通牒

本年官房機密第六二九〇號ニ依ル年末賞與支出科目ハ左ノ通ト御承知相成度

一 賞與ノ科目設置アルモノ及特ニ指示アル場合ノ外

各基本給支辨科目ヨリ支出ノコト

二 十二月一日附所屬ヲ轉シ又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ基本給支辨科目ヲ異ニスル者ニ付テハ從來ノ基本給支辨科目ヨリ支出ノコト

三 十二月一日附服役延期ヲ命ゼラルル者ニ付テハ臨時軍事費ヨリ支出ノコト

經給機密第一二號

昭和十三年十一月二十五日

海軍省經理局長

各支出官
各資(金前渡官吏)殿

國債又ハ貯蓄債券買入ニ關スル件通牒

首題ニ關シ官房機密第六二九九號ヲ以テ海軍次官ヨリ各所屬長官宛申進有之候處其ノ買入ニ付テハ左記ニ依リ處理相成様致度

記

- 一 軍港要港所在ノ各廳ニ在リテハ經理部長又ハ要港部主計長ニ於テ各所轄ヨリノ申出ヲ取纏メ郵便局又ハ勸業銀行支店等ニ申込ムコト
- 二 其ノ他ノ廳ニ在リテハ直接郵便局又ハ勸業銀行支店等ニ申込ムコト

三 右申込ヲ爲シタルトキハ其ノ申込郵便局名又ハ勸業銀行支店名及種別、額面別枚數ヲ十二月五日迄ニ經理局ニ電報スルコト

經給第八五號

昭和十三年十一月二十五日

海軍省經理局長

各支出官
各資(金前渡官吏)殿

給與通牒記載事項ニ關スル件通牒

今般官房機密第六二九〇號ニ依リ年末賞與ノ支給ヲ受ケタル者ニシテ昭和十三年三月末日迄ノ間ニ轉勤スルモノニ對スル給與通牒ニハ賞與支給額、支辨科目及支給應ヲ記載相成度

海軍公報 (部内限) 第三千七十一號

昭和十三年十一月二十六日(土)
海軍大臣官房

○令達

官房機密第六一一七號ノ二
特設根據地隊司令部職員ノ給與及其ノ他ノ經費ハ當該司令部官ノ定ムル處ニ依リ適宜部下艦船部隊主計長ヲシテ掌理セシムルコトヲ得但シ掌理者ヲ定メ又ハ之ヲ變更シタルトキハ速ニ海軍大臣ニ報告スルト共ニ當該艦船部隊經費所管ノ海軍經理部長ニ通知スベシ
昭和十二年官房機密第四九四〇號及昭和十三年同第四六六一號ノ二ハ之ヲ廢止ス
昭和十三年十一月十五日

海軍大臣

官房機密第一一號ノ五二

昭和十三年十一月二十六日

海軍大臣

海軍公報 (部内限) 第三千七十一號 昭和十三年十一月二十六日

一三八九

各鎮守府司令長官
舞鶴要港部司令官
兵器簿ノ件通達
各艦船部隊學校兵器簿砲術長主管之部中左記一米半以下ノ測距儀(但シ潜水艦用一米半水防測距儀ヲ除ク)ヲ削除シ航海長主管兵器簿ニ追加ス

品名	數量	記事
四式 一米半測距儀	兵器簿	砲術長主管兵器簿ヨリ用紙抜取ノ上航海長主管兵器簿ニ挿入ノコト
九一六式 一米測距儀	兵器簿	定數全部
九一六式 八十糎測距儀	兵器簿	定數全部
九一六式 六十六糎測距儀	兵器簿	定數全部

○通牒



(限 内 部)

海軍大臣

軍需機密燃第二六一號

昭和十三年十一月二十四日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

二號重油使用區分ニ關スル件通牒

燃料經理規程別表第一中二號重油ノ使用區分細目ヲ左記ノ通定メラレ候

記

燃料名稱	使用區分細目
二號重油	一號及十一號内火機械用

○ 辭 令

軍令部出仕海軍大尉 半田 仁貴知
 第四部第十課勤務ヲ命ス(海軍軍令部)

軍令部出仕海軍少佐 山内 英一
 臨時戰史部勤務ヲ命ス(註同)

○ 雜 款

○ 驅逐艦早苗行動豫定

地名	着	發
大 湊		十一月二十六日
館 山	十一月二十七日	二十八日
高 松	二十九日	三十日
吳	三十日	

○ 郵便物發送先

第三砲艦隊、會寧丸、正生丸、百福丸、京畿丸宛

自 今

追テ司令、隊機關長、軍醫長、主計長宛ハ 京畿丸

○ 艦裝員事務所設置

第八號掃海艇艦裝員事務所ヲ浦賀船渠株式會社浦賀工場内ニ設置シ十一月二十一日ヨリ事務ヲ開始セリ

○ 殘務整理

佐世保鎮守府第七特別陸戰隊殘務整理ハ佐世保海兵團内ニ於テ行フ

○ 書類取扱ニ關スル件照會

軍艦劍埼ヲ未タ特務艦トシテ處理セラルル向多數有之處書類取扱ニ關シテハ軍艦トシテ取扱相成度

(軍 艦 劍 埼)

○艦船所在 指▲印▲ハ▲ホ▲フ

○十一月二十六日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲

長門▲、口陸奥、▽那珂、口鳥海、摩耶▲

▽蒼龍、木曾、赤城、利根

口曉、漣、狹霧、口響▲、電▲、口天霧、

朝霧、夕霧、若竹

口伊二▲、伊三、伊四▲、口伊六▲、伊七▲

掃五、掃六

富士▲、洲崎

(飛龍)▲、(高崎)▲、(劍埼)▲

【長浦】 口秋風、羽風、山雲、口夏雲、朝雲、峯雲、

沖風、神風、雷

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊五、口伊一二三、伊二四

掃二

【石川島】 太刀風▲

(掃一○)▲

【浦賀】 北上▲

夕風

(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】 波風、早苗

大泊

【函館】 吳竹▲

矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

▽大鯨、▽熊野、鈴谷、三隈、▽神通、龍磯

夕顔、口菊、葵、萩、磯波▲、口初雪、白雪、

吹雪、口浦波▲、綾波、▽矢風、口白雲、

薄雲、叢雲、東雲、口朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、口呂三四、呂三三、伊五一▲

口伊五三▲、伊五五、口伊五七、伊五六、

伊五八、口伊七二、伊七三、伊七一、

口伊六六▲、伊六五、伊六七、伊七四、

口伊一二一、伊一二二、口伊七〇、伊六八

雁 攝津、間宮、襟裳、石廊、室戸

(千代田)、(伊一六)▲

【大阪】 (黒潮)▲

【神戸】 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 早鞆▲

(瑞穂)▲

【玉】 (掃七)▲

【因ノ島】 松風▲、春風▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

海軍公報(部内限)第三千七十一號

昭和十三年十一月二十六日

一三九一

【佐世保】

伊五二▲

(箴)▲(陽炎)▲(掃九)▲

榛名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、
衣笠、▷霧島▲、金剛▲、由良、▷阿武隈
梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、夕月▲、
▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、▷夕風▲、
朝風▲、▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、
峯風▲、▷如月、卯月、彌生、▷野風、
沼風、文月

【長崎】

羽黒▲

(明石)▲(伊一八)▲

伊六一、伊六二、伊六九
敷島▲、知床、鶴見
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、
呂六五▲、呂六七、▷呂六八、呂六三、
▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、
伊六一、伊六二、伊六九

【鎮海】

【作業地】▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、
▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、
▷天龍、龍田、長良、▷加賀、神威、能登呂、
勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷磐手、八雲、

駒橋

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、
▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、
涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、
葛、▷朝顔、▷芙蓉、刈萱、▷菊月、陸月、
望月、三日月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、
菱、▷島風、沙風、灘風、阜月、▷朧、
曙、潮、楡
▷隼、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、▷鳩、鷺、雉
▷掃一、掃三、掃四、▷掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
▷朝日、膠州、隱戸、鳴戸、野島

【航海中】

尻矢 (二十三日羅府發「ホノルル」)
▷旗風 (二十六日長浦發「因島」)

海軍公報 (部内限) 第三千七十二號

海軍大臣官房

昭和十三年十一月二十八日(月)

○ 辭令

海軍艦政本部出仕兼造船造兵
監督會計官海軍航空本部造兵
監督會計官海軍主計中佐
川村久三郎
兼福岡監理官ヲ命ス

海軍技師 松本伊之吉
軍需品平時生産協定中央委員會委員ヲ命ス(以上計五名
海軍省)

海軍機關中佐 北野通俊
技術部第一課勤務兼第二課勤務第三課勤務ヲ命ス
同 增岡增造
補給部勤務ヲ命ス
同 近藤龍

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長ノ
命ヲ承ケ服務スヘシ
海軍造兵少佐 寺田重義
在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上計四名海軍
航空本部)

補給部勤務ヲ命ス(計四名同)
海軍整備特務中尉 坂本詮夫

(各通)

海軍大佐 入船直三郎(艦本)
同 水井靜治(千代田)
海軍少佐 内堀與四郎(同)
同 榎尾義男(吳鎮)
同 井手元男(千代田)
同 浦田輝次郎(航本)
同 濱崎隆(千代田)
海軍機關大佐 島田藤治郎(艦本)
海軍機關中佐 今田乾吉(吳鎮)
海軍機關少佐 大鈴英男(千代田)
海軍造船少佐 武富猪一(吳廠)
軍艦千代田審議委員ヲ命ス
海軍中佐 三浦速雄(艦本)
海軍少佐 井上憲一(軍令)
同 北野亘(掃七)

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第三千七十二號

昭和十三年十一月二十八日

一三九三

(各通)

同 山田 盛重(軍務)

海軍中尉 桑原 哲郎(掃七)

海軍機關中佐 福永 益哉(艦本)

海軍造船大佐 井上 恒六(艦本監)

海軍造船少佐 松本 喜太郎(艦本)

海軍技師 福岡 武美(艦本監)

第七號掃海艇審議委員ヲ命ス(以上註記)海軍艦政本部)

○雜款

○特設運送船金龍丸行動豫定

地名	着	發
基世隆	十二月七日	十二月五日
大佐保	十四日	八日
佐世保	十七日	十二日
吳阪	二十日	十六日
大須賀	二十二日	十九日
横須賀	二十五日	二十一日
大分	二十七日	二十四日
佐保	三十日	二十六日
吳世保		二十九日

○獨逸飛行機ノ本邦飛來豫定變更(八月十日日本欄參照)

一、乘員

- 第一操練士 飛行大尉工學士「ヘンケ」
- 第二操練士 男爵フオン、モロー「大尉
- 無線機械技師 「ディーエルベルク」
- 無線技師 「コーベル」
- 組立技師 「コーネ」

二、使用機

「フオツケ、ウルフ」FW二〇〇型「コンドル」
BMW發動機四基付
登録記號D-ACON

三、目的

長距離試験飛行

四、指定航空路

河内—立川間
河内、臺北間交戰區域内ノ飛行ハ特ニ注意スベシ
南支那海ニ於テ大日本帝國艦船ニ遭遇シタル場合ハ直チニ之ヨリ離隔スル様行動スベシ
河内出發後臺北ヲ通過シテ九州南端通過迄ハ臺北無線電信局、右以降ハ東京中央無線電信局ト密接ナル連絡ヲ取リ行動ヲ明カニスベシ
河内、立川間日本領海内ノ飛行ニアリテハ通常左ノ第一航空路ニ依ルベシ但シ萬一氣象情報極メテ不良ニシテ第一航空路ヲ取ルコト能ハザル

場合ハ左ノ第二航空路ヲ取ルコトヲ得

「第一航空路」

河内出發「バン」海峡ヲ經テ臺灣東海岸線ノ外側
二十軒ヲ北航シ南西諸島西北洋上ニ出デ次デ佐
多岬ヲ經テ潮岬ニ直航シ伊豆南端、江ノ島ヲ經
テ立川飛行場へ
但シ舊東京市上空ノ飛行ハ之ヲ禁ズ

「第二航空路」

河内出發、澎湖島及高雄要塞地帯ヲ避ケ澎湖島
南方海上ヨリ臺南上空ニ出デ之ヨリ鐵道線路又
ハ海岸線ニ沿ヒ臺北上空ニ出デ次デ基隆、奄美
大島要塞ヲ避ケ直路佐多岬ニ出デ潮岬ニ直航シ
次デ伊豆南端、江ノ島ヲ經テ立川飛行場へ
但シ舊東京市上空ノ飛行ハ之ヲ禁ズ

五、著

陸場
立川陸軍飛行場

六、條

- (一) 帝國領土航空中ハ帝國航空法規ヲ遵守スベシ
- (二) 要塞地帯及要塞地帯法第七條ニ定メタル區域
並軍港、要港ノ上空ノ飛行ハ之ヲ禁止ス尙南
西諸島及臺灣並其ノ領海ハ軍機保護法施行規
則ニ定ムル飛行禁止區域ニ付前記指定航空路
ヲ除キテハ該區域ニ航入セザル様注意スベシ
- (三) 河内、東京間ニ於テ夜間飛行ヲ行フ場合ハ規

七、期

十一月二十八日「ベルリン」發十二月一日東京着
ノ豫定

○正誤

本月二十五日號外通牒欄經給第八五號中「昭和十三年」
ハ「昭和十四年」ノ誤

定ノ燈火ノ外ニ機體ノ識別ヲ容易ナラシムル
爲特別ナル白色燈火ヲ點ズベシ

(四) 復航ハ前記往航ノ逆トス

○艦船所在

▲印ハハホニ
指定ヲ要セズ

○十一月二十八日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門▲、□陸奥、▷那珂、□鳥海、摩耶▲

▷蒼龍、木曾、赤城、利根

□曉、漣、狹霧、□譽▲、電▲、□天霧、

朝霧、夕霧、□秋風、羽風、山雲

□伊二▲、□伊四▲、□伊六▲、伊七▲

掃五、掃六

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】

夏雲、朝雲、峯雲、沖風、神風、雷

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊三、伊五、□伊一二三、伊一二四

掃二

太刀風▲

(掃一○)▲

北上▲

夕風

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

澤風▲早苗

波風

大泊

吳竹▲

【函館】

吳竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲淀、淺間、扶桑▲古鷹▲
加古▲大井、最上、日向、伊勢▲鬼怒、

▷大鯨、▷熊野、鈴谷、三隈、▷神通、龍驤

夕顔、□菊、葵、萩、磯波▲、□初雪、白雪、

吹雪、□浦波▲、綾波、▷矢風、□白雲、

薄雲、叢雲、東雲、□朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、□呂三四、呂三三、伊五一▲、

伊五三▲、伊五五、□伊五七、伊五六、

伊五八、□伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二二、□伊七〇、伊六八

雁

攝津、間宮、襟裳、石廊

【大阪】

(黒潮)▲

千代田、(伊一六)▲

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

早鞆▲

(掃七)▲

松風▲、春風▲

平戸▲

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲

伊五二▲

(液)▲(陽炎)▲(掃九)▲

【神戸】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

【相生】

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【玉】

早鞆▲

【因ノ島】

(掃七)▲

【江田内】

松風▲、春風▲

【舞鶴】

平戸▲

海軍公報(部内限) 第三千七十二號

昭和十三年十一月二十八日

一三九七

【敦賀】

帆風

椽名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、

衣笠、▷霧島▲、金剛▲、由良、▷阿武隈、千歲

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、薑▲、夕月▲

▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、▷夕風▲

朝風▲、▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲

峯風▲、▷如月、卯月、彌生、▷野風、

沼風、文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▷呂六六、

呂六五▲、呂六七、▷呂六八、呂六三、

▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、

伊六一、伊六二、伊六九

敷島▲、知床、鶴見、室戸

(明石)▲、(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(筑摩)▲

【鎮海】

椽

【雄基】

▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、

▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、

▷天龍、龍田、長良、▷加賀、神威、能登呂、

勝力、迅鯨、▷嵯峨、▷磐手、八雲、駒橋

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、

▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、

涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、

葛、▷朝顔、▷芙蓉、刈萱、▷菊月、睦月、

望月、三月月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、

菱、▷島風、沙風、灘風、阜月、▷隴、

曙、潮

▷隼、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、▷鳩、鷺、雉

▷掃一、掃三、掃四、▷掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▷朝日、膠州、隠戸、鳴戸、野島

【航海中】

尻矢 (二十三日羅府發「ホノルル」へ)

▷旗風 (二十六日長浦發「因島」へ)

若竹 (二十六日横須賀發「吳」へ)

海軍公報

(部内限) 第三千七十三號

海軍大臣官房

昭和十三年十一月二十九日(火)

○令 達

官房機密第四二二四號ノ二

本年官房機密第四二二四號中左ノ通改正ス

昭和十三年十一月二十九日

海軍大臣

撰 要

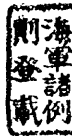
官房第五九四七號

大正十二年官房第一三〇四號練習生採用試験標準別表

中左ノ通改正ス

昭和十三年十一月二十九日

海軍大臣



撰 要

第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ人員ハ左表ノ範圍内トス

兵 (掌電信兵、高)曹	被教育者(偵察員)二十人ニ對シ一人
航空兵 (掌航空兵)曹	經上戰闘機操縱專修(被教育者三人ニ對シ一人)水上偵察機操縱專修(對シ一人)其ノ他被教育者四人ニ對シ一人
航空兵 (掌航空兵器兵、高)曹	被教育者 十五人ニ對シ一人
整備兵、高)曹	被教育者 十五人ニ對シ一人

(昭和十三年八月四日海軍公報(部内限)参照)

普通科經理術練習生、普通科衣糧術練習生ノ項、試験科目ノ欄ヲ左ノ如ク改メ合格標準ノ欄中「作文、習字」ノ下ニ「及厨業」ヲ加フ

- (一) 讀書
 - (二) 算術
 - (三) 作文
 - (四) 習字
 - (五) 厨業
- 但習字ハ經理術練習生、厨業ハ衣糧術練習生ニ限ル

高等科經理術練習生、高等科衣糧術練習生ノ項試験科目ノ欄ニ左ノ如ク加フ

海軍公報(部内限) 第三千七十三號

昭和十三年十一月二十九日

一三九九

(六) 厨業

但シ高等科衣糧術練習生ニ限ル

○通牒

官房第五七九一號ノ五

昭和十三年十一月二十九日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ

關スル件通牒

來十二月三日霞ヶ浦海軍航空隊ニ於テ命名式舉行豫定ノ報國號飛行機ノ要目發表範圍ニ關シテハ左記ニ依ルコトト御了知相成度

記

一、報國號飛行機要目發表範圍

(イ) 報國第二一六號(成田山號)

同 第二三二號(第二實業學生號)

機種 艦上戦闘機

座席 一

全幅 一一・〇米

全長 七・五米

全高 三・〇米

(ロ) 報國第二二四號(キツコマン號)

同 第二三〇號(特殊製鋼號)

同 第二三一號(岡田號)

同 第二三八號(第六全國民號)

同 第二三九號(第七全國民號)

機種 艦上攻撃機

要目 發表セズ

二、寫真撮影 特ニ許サレタルモノノ外禁止

海人第一六八號ノ二

昭和十三年十一月二十八日

海軍省 人事局

關係各廳御中

履歴記入方ノ件通知

本年六月二十二日(六月二十三日公報(部内限)號外)

海人第一六八號通知(イ)ニ對スル履歴記入ハ昭和十三年

十二月十六日現在ニ於ケル所轄ニ於テ之ヲ行ヒ直ニ其

ノ通報手續ヲ完了セラレ度

追テ昭和十二年七月ヨリ同十三年六月十六日ニ至ル

恩給年彼勤年加算調書追録ハ既ニ發送済(軍港又ハ

要港ニ在ル各廳ニ在リテハ最寄ノ海軍人事部又ハ要

港部ニ於テ受領セラレ度)又昭和十三年十二月ヨリ
同十二年七月六日ニ至ル駐滿海軍部及臨時海軍防備
隊所屬艦船ノ部ハ追テ送付可致候

○ 辭 令

燈臺局技師 森田 富士助
海軍省事務ヲ囑託ス(計部海軍省)

○ 雜 款

○司令驅逐艦一時變更
第六驅逐隊司令ハ十一月十九日、同二十二日、同二十
四日司令驅逐艦ヲ一時響ヨリ雷ニ變更孰モ同日復歸セ
リ

○郵便物發送先

驅逐艦旗風、同春風宛

自 今

備後土生因島船渠内

驅逐艦夕風宛

自 今

横 須 賀

第十五航空隊宛

自 今

大村海軍航空隊内

○殘務整理
第三掃海隊殘務整理事務所ヲ吳海軍經理部内ニ設置シ
十一月二十一日ヨリ事務ヲ開始セリ

○艦裝員事務所設置
第十號掃海艇艦裝員事務所ヲ東京市石川島造船所内ニ
設置シ十一月二十二日ヨリ事務ヲ開始セリ

○着任、退應

新任海軍省經理局 海軍主計大佐 西野 定市 十二月三日着任

前任第二課長 同 横尾 石夫 同 十二月退應

新任海軍省建築局 海軍技師 松本伊之吉 十二月三日着任

前任首席局員 同 甚日雅治 同 日退應

○艦船所在

▲印ハハホノ
指定ヲ要セズ

○十一月二十九日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門▲、口陸奥、▷那珂、口鳥海、摩耶▲

▷蒼龍、木曾、赤城、利根

口曉、漣、狹霧、口響▲、電▲、口天霧、
朝霧、夕霧、口秋風、羽風、夕風、山雲、
澤風

口伊二▲、伊四▲、口伊六▲、伊七▲

掃五、掃六

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】

夏雲、朝雲、峯雲、沖風、神風、雷

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、
伊三、伊五、口伊一二三、伊一二四

掃二

【石川島】

太刀風▲

(掃一○)▲

【浦賀】

北上▲ (霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【大湊】

波風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲淀、淺間、扶桑▲古鷹▲

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、
▷大鯨、▷熊野、鈴谷、三隈、▷神通、龍驤

夕顔、口菊、葵、萩、若竹、口初雪、白雪、
吹雪、口浦波▲、綾波、▷矢風、口白雲、
薄雲、叢雲、東雲、口朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、口呂三四、呂三三、伊五一▲

口伊五三、伊五五、口伊五七、伊五六、
伊五八、口伊七二、伊七三、伊七一、
口伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、
口伊一二一、伊一二二、口伊七〇、伊六八

雁 攝津、間宮、襟裳、石廊

(千代田)、(伊一六)▲

【大阪】(黒潮)▲

【神戸】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】早鞆▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】口旗風、松風▲、春風▲

【江田内】平戸▲
吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

【舞鶴】敷波▲
伊五二▲
(叢)▲(陽炎)▲(掃九)▲

【敦賀】

帆風

榛名、那智、常磐、名取、青葉、
衣笠、霧島、金剛、由良、阿武隈、千歲、
梨、竹、樞、桃、柳、檜、重、夕月、
若葉、初霜、子日、初春、夕風、
朝風、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、
峯風、如月、卯月、彌生、野風、
沼風、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、
呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、
伊六一、伊六二、伊六九

【長崎】

羽黒

(明石)、(伊一八)

敷島、知床、鶴見

【鎮海】

葦、柿

【雄基】

楡

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、
川内、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、
天龍、龍田、長良、加賀、神威、能登、呂、
勝力、迅鯨、嵯峨、磐手、八雲、駒橋

【航海中】

尻矢 (二十三日羅府發「ホノルル」)
磯波 (二十八日吳發「舞鶴」)
早苗 (二十八日館山發「高松」)
室戸 (十八日佐世保發「吳」)

栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、
涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、
葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、睦月、
望月、三月月、追風、疾風、蓼、蓬、
菱、島風、汐風、灘風、皐月、臘、
曙、潮

隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、隱戶、鳴戶、野島

海軍公報

(部内限) 第三千七十四號

海軍大臣官房

昭和十三年十一月三十日(水)

1211

(限 内 部)

○ 辭 令

吳海軍經理部部長

海軍主計少佐 德永 春雄

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中佐 藤井 百太郎

艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス

支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上計六名)支

出官海軍省經理局長)

海軍大佐 丸山 茂富

總務部勤務ヲ命ス(計六名)海軍航空本部)

○ 雜 款

○南支方面便船ノ件

南支方面赴任旅行者ノ爲左ノ便船アリ但シ艦隊ハ分離
行動シアルニ付赴任先ハ各自關係ノ向ト打合スヲ要ス

一、基隆發 第三根據地隊行商船便

十二月四日 七日 十日 十四日 十七日

二十日 二十三日 二十七日 何レモ午前出港

二、高雄發 南支部隊行艦船便

十二月六日 勝力 九日 菊月 十三日 三日月

十六日 東園丸 十九日 陸月 二十二日 望月

二十六日 長良 二十九日 第二十八驅逐隊ノ

一艦 三、右ノ外高雄發南支部隊行運送艦船便數同アル見込

(海軍省 副官)

○旗艦指定

横須賀防備戰隊司令官ハ十一月二十五日旗艦ヲ夏雲ニ

指定セリ

○旗艦變更

第五水雷戰隊司令官ハ十一月二十八日旗艦ヲ朝顔ヨリ

長良ニ變更セリ

○將旗一時將揚

佐世保防備戰隊司令官ハ十一月二十六日將旗ヲ一時名

海軍公報(部内限) 第三千七十四號

昭和十三年十一月三十日

一四〇五

取ヨリ文月ニ移揚、同日復歸セリ

<p>○特務艦石廊行動豫定</p> <p>地名 着 發</p> <p>吳山 十二月二日 十二月二日</p> <p>德山 十二月五日 十二月四日</p> <p>佐山 十二月八日 十二月七日</p> <p>德山 十二月十一日 十二月十日</p> <p>佐山 十二月十六日 十二月十五日</p> <p>德山 十二月十九日 十二月十八日</p> <p>吳山 十二月二十四日 十二月二十一日</p>		<p>○郵便物發送先</p> <p>第四砲艦隊及あきつ丸、新興丸宛 自今 佐世保郵便局氣付</p> <p>第八桐丸宛 自今 佐世保郵便局氣付</p> <p>義勇丸宛 當分ノ間 吳</p> <p>特務艦石廊宛 十二月一日迄ニ到達見込ノモノハ 吳</p>	
<p>○特設運送船朝光丸行動豫定</p> <p>地名 着 發</p> <p>佐世保 十二月十一日 十二月十四日</p> <p>吳戸 十二月十五日 十二月十八日</p> <p>神戸 十二月十九日 十二月二十一日</p> <p>大坂 十二月二十三日 十二月二十六日</p> <p>横須賀 十二月二十九日 十二月三十一日</p> <p>吳保 十二月二十九日 十二月三十一日</p> <p>佐保 十二月二十九日 十二月三十一日</p> <p>西崎 十二月二十九日 十二月三十一日</p> <p>吳戸 十二月二十九日 十二月三十一日</p> <p>大坂 十二月二十九日 十二月三十一日</p>		<p>○郵便物發送先</p> <p>特設運送船朝光丸宛 十二月十三日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保</p> <p>同 十二月十七日迄ニ到達見込ノモノハ 吳</p> <p>同 十二月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀</p> <p>其ノ後ハ 同 十二月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保</p> <p>同 十二月十七日迄ニ到達見込ノモノハ 德山</p> <p>同 十二月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 德山</p> <p>同 十二月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 德山</p> <p>同 十二月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 德山</p> <p>同 十二月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 德山</p>	

<p>高年一月三日迄ニ同 同 六日迄ニ同 同 九日迄ニ同 同 十二日迄ニ同 同 十六日迄ニ同</p> <p>吳 佐世保 西 戸崎 吳 須賀 横 須賀</p>	<p>鹿屋海軍航空隊本隊宛 自今 「速達料金三十錢」 鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町</p>	<p>第五砲艦隊司令部及各艦宛 自今 佐世保郵便局氣付</p> <p>伊號第六十九潜水艦宛 自今 佐世保</p>	<p>○残務整理 第二聯合特別陸戰隊司令部残務整理ハ在厦門第三根據地隊參謀兼副官海軍少佐山下吉盛之ヲ處理ス</p> <p>○郵便物表記ニ關スル件 首題ノ件ニ關シ砲艦隊ト砲艇隊トハ其ノ名稱相似セル爲郵便物托送品ニ誤記入送達ノ例勘ナカラザルニ付御留意相成度 (第四砲艦隊)</p> <p>○赴任者ニ關スル件</p>
<p>今期移動ニ依リ當隊ヘノ赴任者ハ臺灣着後ノ旅行ニ就キテハ臺北在勤武官ニ間合セ相成度 (第十四航空隊)</p>		<p>○着任 新任 水路部第三課長 海軍大佐 堀勇 五郎 土月三十四日着任 新任 海軍省教育局 海軍機關大佐 渡邊 瑞彦 土月二十六日着任 新任 第三課長 海軍機關大佐 渡邊 瑞彦 土月二十六日着任</p>	

海軍公報(部内限)第三千七百四號 昭和十三年十一月三十日

一四〇七

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月三十日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、風翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、長門▲、陸奥、那珂、鳥海▲、摩耶、

若龍、木曾、赤城、利根

曉、漣、狹霧、響、電、天霧、朝霧、

夕霧、秋風▲、羽風▲、夕風、澤風

伊二▲、伊四▲、伊六▲、伊七▲

掃五▲、掃六

富士▲、洲崎

飛龍▲、高崎▲、劍埼▲

【長浦】

夏雲、朝雲、峯雲、沖風、神風、雷、山雲、

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊三、伊五、伊一二三、伊一二四

掃二

太刀風▲

掃一○▲

浦賀▲、北上▲

霞▲、不知火▲、掃八▲

波風

大泊

吳館▲

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

大鯨、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤

夕顔、菊、葵、萩、若竹、初雪、白雪、

吹雪、浦波▲、綾波、矢風、白雲、

薄雲、叢雲、東雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、呂三四、呂三三、呂五一▲

伊五三▲、伊五五、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八

雁 攝津、間宮、襟裳、石廊

千代田、伊一六▲

黑潮▲

大阪 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

神戶 瑞穂▲、伊八▲、伊七五▲

相生 早鞆▲

相玉 掃七▲

因ノ島 旗風▲、春風▲

江田内 平戸▲

高松 早苗

舞鶴 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

敷波▲、帆風

伊五二▲

掖▲、陽炎▲、親潮▲、掃九▲

海軍公報(部内限) 第三千七百四號

昭和十三年十一月三十日

一四〇九

【佐世保】

棒名、那智、常磐、名取、青葉、衣笠、霧島、金剛、由良、阿武隈、千歳、梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、若葉、初霜、子日、初春、夕風、朝風、大湖、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、如月、卯月、彌生、夕月、野風、沼風、文月、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二、伊六九、敷島、鶴見

【長崎】

羽黒、(明石)、(伊一八)、佐多、(筑摩)

【鎮海】

葦、柿

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、駿島、八重山、白鷹、川内、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、神威、能登、勝力、迅鯨、嵯峨、磐手、八雲、駒橋、栗、榎、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、水無月、長月、薄、藤

【航海中】

尻矢 (二十三日羅府發「ホノルル」)
磯波 (二十八日吳發「舞鶴」)
室戸 (十八日佐世保發「吳」)

葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、陸月、望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、菱、島風、沙風、灘風、阜月、潮、檣、隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鳩、鷺、雉、掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、朝日、膠州、隠戸、鳴戸、野島、知床